

読書週間 図書館特集

誰もが読書ができる図書館を目指して

令和3年8月からバリアフリーサービスを開始しました。



視

覚障害者などの読書環境の整備に関する施策の推進を図るため、令和元年に読書

バリアフリー法※が施行され、翌年には国の読書バリアフリー基

本計画が策定されました。

読書バリアフリー法では、地方公共団体の責務として関連施策を策定・実施することが規定され、国的基本計画では視覚障害者などによる図書館利用に係る体制の整備などが規定されています。

豊能町立図書館では、これまでも対面朗読をはじめ一部の障害者サービスを実施していましたが、これらの法律および計画の趣旨を受けて、広く図書館の利用に障害のある方を対象に新たにバリアフリーサービスとして実施することとしました。

本町の状況に合わせて少しずつですが確実にサービスを実施していく、障害の有無にかかわらずひとしく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与していきたいと考えています。

※正式名称は「視覚障害者などの読書環境の整備に関する法律」です。

特集

案内般

健康・福祉

安全・生活

教育・子育て

情報あれこれ

NDCピクトグラム NDC Pictgram

右のページの写真にたくさん描かれているのは、東京 2020 オリンピックの開会式でも話題となったピクトグラム（絵文字）です。図書館のさまざまな蔵書を分類するために使われている日本十進分類法（NDC）は専門的で分かりにくいため、誰が見てもわかりやすく読みたい本を探しやすくするために、この NDCピクトグラムが作られました。豊能町立図書館でも館内表示に使用しています。



ホームページで詳しく解説しています。

豊能町立図書館バリアフリーサービス 主な5つのサービス

長期貸出サービス

視覚障害の身体障害者手帳をお持ちの方

図書館資料を4週間借りることができます（延長は不可です。）

対面朗読サービス

視覚などに障害のある方

有償ボランティアによる対面朗読を行います。

DAISY再生機 貸出サービス

視覚障害の身体障害者手帳をお持ちの方

DAISY図書の再生機をお試しで貸出しています。

（DAISYの詳細については4ページを参照してください。）

録音図書・点字図書 郵送貸出サービス

視覚障害の身体障害者手帳をお持ちの方

録音図書や点字図書を自宅まで郵送します。

図書館資料郵送 貸出サービス

身体に重度の障害のある方
または知的障害の程度が重い方

当館の蔵書を自宅まで郵送します。

※サービスの対象者や内容の詳細については図書館のホームページをご覧いただくか、図書館までお問い合わせください。

（☎ 738-3304）

表紙に使用している図書

【左上】大活字本シリーズ「芥川龍之介」「宮沢賢治」三和書籍 【左下】LLブック「仕事に行ってきます」シリーズ 埼玉福祉会
【右下】『ぞうくんのさんぽ』なかのひろたか・さく・え 福音館書店 『テルミのめいろ』たなかきよし・さく 小学館



最後の頁を閉じた
違う私がいた

2021・第75回 読書週間
10/27(水)～11/9(火)



臨時休館のお知らせ

11/8(月)～12/7(火)

空調更新工事のため休館します。詳しくはP30のお知らせをご覧ください。

図書館を目指して

図書館で利用できるバリアフリー図書



大活字本

小さな字が見えにくい方にも読みやすいように、大きな文字で書かれています。

『鉄道員 * ラブ・レター』
浅田次郎 大活字

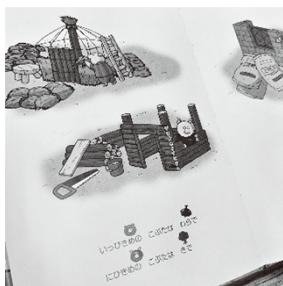
点字図書

点字に翻訳（点訳）された本です。点を使って図や絵を表したもの「点図」といいます。

点字と点図を透明なシートに打って、絵本に貼った「点訳絵本」もあります。



『しろくまちゃんのホットケーキ』
わかやまけん こぐま社



LLブック

やさしい言葉でわかりやすく書かれた本です。
ピクトグラム（絵文字）や写真・図を使って理解を助けています。

『さんびきのこぶた』
あかぎかんこ・ぶん なかがわだいすけ・え
埼玉福祉会

DAISY(Digital Accessible Information SYstem アクセシブルな情報システム)

視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにつくられたデジタル録音図書の国際標準規格です。「デイジー」と読みます。この規格を使って作られた図書が DAISY 図書です。

音声 DAISY

図書や雑誌の内容を録音して音声にしたものです。目次やページ情報が収録されていて本をめくるように読むことができます。



テキスト DAISY

音声データは無く、見出しと本文のテキスト（文字列）で構成された DAISY です。

マルチメディア DAISY

文字や画像をハイライトしながら、その部分の音声と一緒に読むことができます。パソコンやタブレットなどを使って再生します。



※音声 DAISY・マルチメディア DAISY は、当館の所蔵は少ないですが、他の図書館から借りてくることができます。テキスト DAISY の貸出は行っていませんが、国会図書館の利用方法を案内します。

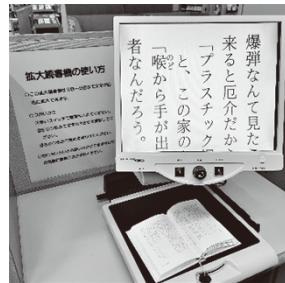
※DAISY 図書は、利用できる方が限られる利用対象制限資料です。詳しくは図書館ホームページをご覧いただくなさい。

読書週間 図書館特集 誰もが読書ができる

図書館で利用できるバリアフリー機器

拡大読書器

文字を拡大して画面に映し出す機械です。
ズームや白黒反転することもできます。



DAISY 再生機

音声DAISYを再生することができる専用の機器です。図書館内の対面朗読室（集会室）で利用することができます（要予約）。DAISY図書と同じく利用できる方が限られます。



リーディングトラッカー リーディングルーペ

リーディングトラッカーは、読みたい行だけに視点を集中して読むことができる道具です。貸出も可能です。

リーディングルーペは、断面が半円のルーペで文字を拡大してみることができます。底辺にカラーラインが引いてあるので1行ずつ読むことができます。こちらは、館内でお使いください。

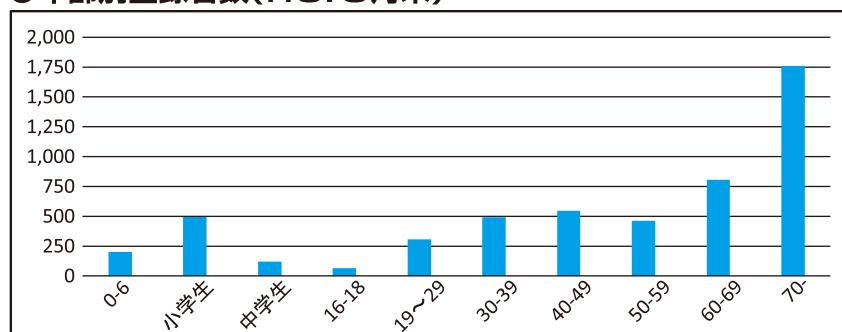


数字で見る図書館

◎令和2年度の主な運営状況

◆蔵書数	146,161冊
（一般書	98,489冊）
児童書	40,654冊
雑誌	3,624冊
視聴覚	3,394点
◆年間開館日数	町立図書館………240日
	中央公民館図書室………250日
◆登録者数	………5,564人
◆貸出冊数	………148,656冊
◆貸出人数	………46,098人

◎年齢別登録者数(令和3.3月末)



◆指標で見る市町村図書館(令和2年度大阪府内公共図書館奉仕概況及び予算一覧表より)

住民1人あたりの個人貸出冊数 (図書のみ)(円元)(冊)	住民1人あたりの図書冊数 (円元)(冊)	有効登録率(令和2.3末) (人口に対する、1年間に1度 でも利用した人の割合)(%)	住民1人あたりの図書費 (円元)(円)	蔵書回転率(円元)(図書のみ) (蔵書冊数に対する個人貸出冊数 の割合)(%)
1. 茨木市 ……… 12.5	1. 熊取町 ……… 8.5	1. 松原市 ……… 93.1.5	1. 松原市 ……… 93.1.5	1. 島本町 ……… 310.9
2. 箕面市 ……… 11.4	2. 豊能町 ……… 7.6	2. 熊取町 ……… 303.4	2. 熊取町 ……… 303.2	2. 豊中市 ……… 303.2
3. 島本町 ……… 9.4	3. 忠岡町 ……… 7.2	3. 茨木市 ……… 280.2	3. 茨木市 ……… 280.2	3. 吹田市 ……… 300.3
(4. 豊能町 ……… 9.3)	(4. 豊能町 ……… 21.6)	(4. 豊能町 ……… 261.5)	(4. 豊能町 ……… 261.5)	(27. 豊能町 ……… 122.5)

豊能郡環境施設組合からのお知らせ

ダイオキシン問題の早期解決にむけて

～廃棄物処理に関する情報共有・意見交換会を開催しました～

豊能郡環境施設組合では、旧双葉保育所他2か所に仮置きをしているダイオキシン類を含む廃棄物について、安全に埋め立てて処分する方法として、旧双葉保育所園庭内で遮断型最終処分場を建設することとし、昨年10月に最終処分の計画を地元自治会である余野自治会に説明し、公表しました。

この計画について地元自治会（余野）から嘆願書が提出されるなど、反対の立場が表明されているところですが、組合は今後も丁寧に理解を求めるながら進めていく予定です。

ダイオキシン問題は発生から約24年もの長い年数が経過しながら未だ解決していない町の大きな課題であり、住民全体で考えるべきものであることから、現在の状況や解決のあり方などについてオープンに考える取り組みの一環として、組合事務局が余野自治会を除く町内13自治会の役員の方々を対象に、自治会館などにおいて情報共有・意見交換会を実施しました。どの自治会でも共通して当事者意識を持ち、有意義な意見交換会ができましたので、その概要についてお知らせいたします。

【開催状況】9/2~9/19の間に13回開催 合計出席者72名 組合から事務局長以下3名出席

組合事務局からの説明内容

- 問題発覚当初から焼却炉の解体、能勢町における汚染土壌の処理、産業廃棄物の外部処理などの経緯および処理に至らなかった一般廃棄物について
- 能勢町と豊能町の状況の違いについて
- 従来、仮置きしていた地区の状況および神戸市からの移送後、約5年間、仮保管に応じている地元自治会（余野）の状況について
- 仮保管している廃棄物の安全性、現在の最終処分場計画および環境アセスメントなどについて
- 数々の外部処理の打診およびその結果について
- 地元自治会（余野）との協議内容および13自治会との意見交換会に至る経緯について

各自治会からの質問や意見

【一般的な意見】

- 自分たちの出したごみは自分たちで処理する。
- 民家の少ない場所に町有地はないのか。
- 過去の組合の事後処理が良くない。
- 科学的な安全性への理解と住民との対話が大切。
- 今回の取組をもっと早期にしてほしかった。

【余野での最終処分の方針について】

- 半永久的に将来世代にわたり山間部ではなく民家の多い東地区の中心地に建設するのは抵抗を感じるので、無害化は考えられないのか。
- 西地区の町有地でもいいのではないか。
- 地元地域への補償的なものも必要ではないか。

【公平な負担方法について】

- 一か所で引き取ることができないなら、各自治会で公平に分けることはできないのか。

【外部処理】

- フェニックスや一市三町などの外部の処理施設では受け入れが難しいのか。

【風評被害やネガティブイメージの払拭】

- 安全性をPRし、ネガティブイメージを払拭する広報を徹底して行うべきではないか。
- 有名で権威のある専門家の意見を活用することはできないのか。

《中間処理後の埋立て可能な廃棄物》



コンクリート固化済
2.4~18ng-TEQ/g



無害化溶融スラグ
0.0024ng-TEQ/g

※数値はダイオキシン類濃度

今後の取組予定

豊能郡環境施設組合では、現在の廃棄物が中間処理を終えたものであることから、安全性に対する科学的な理解と徹底した情報の共有と対話によって、ネガティブなイメージによる風評被害を防ぎ、町全体で住民の方々の理解を深めながら課題の早期解決に取り組んでいきます。

問=豊能郡環境施設組合 ☎739-3004